

2021年08月21日

報道関係者各位

株式会社東急スポーツオアシス

遊具やベンチが本格フィットネス器具に変身!? アプリ活用で公園丸ごと仮想ジムに!

東急スポーツオアシス×わくわくパーククリエイイト×セレッソ大阪

公園^{パーク}で楽しくストレッチ! 「長居パークレッチ」を提供開始

フィットネスクラブ初の公園コラボ事業「ウェルビーイングパークプロジェクト」第1弾

「Well-being First!」を企業ミッションに掲げる、株式会社東急スポーツオアシス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：栗辻稔泰、以下オアシス）は、長居公園の指定管理事業者のわくわくパーククリエイイト株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長 神原清孝）と、長居公園内にホームスタジアムを持つサッカーチーム セレッソ大阪との3者でコラボレーションし、8月21日（土）から、長居公園のリニューアル計画の一環として公園を活用した健康増進事業「長居パークレッチ」を開始いたします。

▶ 発表会オフィシャル素材はこちら：https://bit.ly/tokyu_oasis

■ 背景

人生100年時代と謳われる中で、大阪府の健康寿命は、男性全国39位（71.50歳）女性全国35位（74.46歳）と、大都市の中でも全国下位になります。*1 さらに、要介護者は約51万人に上り、第1号被保険者に占める認定者の割合は、全国平均18.3%を上回る21.4%と高くなっています。*2 命と健康をテーマに掲げる大阪・関西万博を2025年に控え、大阪での健康寿命延伸は大きな課題といえます。

コロナ禍で注目が集まる、身体的・精神的・社会的に良好な状態「ウェルビーイング」には、適度な運動やバランスの良い食事の習慣化が必要です。しかしながら運動習慣のある人は、男性33.4%、女性25.1%と低く*3、またコロナ禍での外出自粛要請や在宅勤務の普及に伴う運動不足、心身の疲労による健康二次被害は拡大し、心身共にリフレッシュする運動機会が求められています。

オアシスは、誰もが心身共に健やかな毎日を過ごせる社会を目指し、わくわくパーククリエイイト株式会社とコラボレーションし、長居公園を活用した健康増進事業「長居パークレッチ」を開始。オアシスが開発・運営するトレーニングアプリ「WEBGYM」を活用して、長居公園利用者向けのオリジナルトレーニングコンテンツを提供します。これは当社の公園コラボレーション事業「ウェルビーイングパークプロジェクト」の第1弾となり、フィットネスクラブ初の取り組みとなります。そして、長居公園内にホームスタジアムを有する株式会社セレッソ大阪（本社：大阪市東住吉区 代表取締役社長：森島寛晃）にも協力いただき、日常の長居公園来

園者に加えて、セレッソ大阪ホームゲーム開催時に来園するサポーターの健康増進にも利用拡大を図っていきます。

オリジナルトレーニングコンテンツは、オアシスのトレーニングアプリ「WEBGYM」を活用して提供。アプリから公園施設を利用して運動したユーザの行動データ（位置情報、利用時間、利用内容など）を、さらなるトレーニングコンテンツの充実や、公園施設の利用拡大などに活用していく予定です。

*1 健康寿命：厚生労働省 第11回健康日本21（平成28年版）
https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/0000166297_5.pdf
 *2 要介護者：平成30年度 介護保険事業状況報告（年報） https://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/osirase/jigyo/18/dl/h30_gaiyou.pdf
 *3 令和元年国民健康・栄養調査（厚生労働省） https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_14156.html

「ウェルビーイングパークプロジェクト」 第1弾 東急スポーツオアシス×わくわくパーククリエイト×セレッソ大阪 「長居パークレッチ」概要

新型コロナウイルス感染の拡大が心配される中、新しい生活様式を見据え、屋外空間である公園を活用し、自然の中で、心身をリフレッシュさせる体験を提供します。公園内にある遊具やベンチなどに設置されているQRコードから、オアシスが提供するトレーニングアプリ「WEBGYM」にアクセスすると、長居公園利用者向けのオリジナルトレーニングコンテンツが楽しめます。

■ 公園内全6箇所、30種類のトレーニングコンテンツを用意

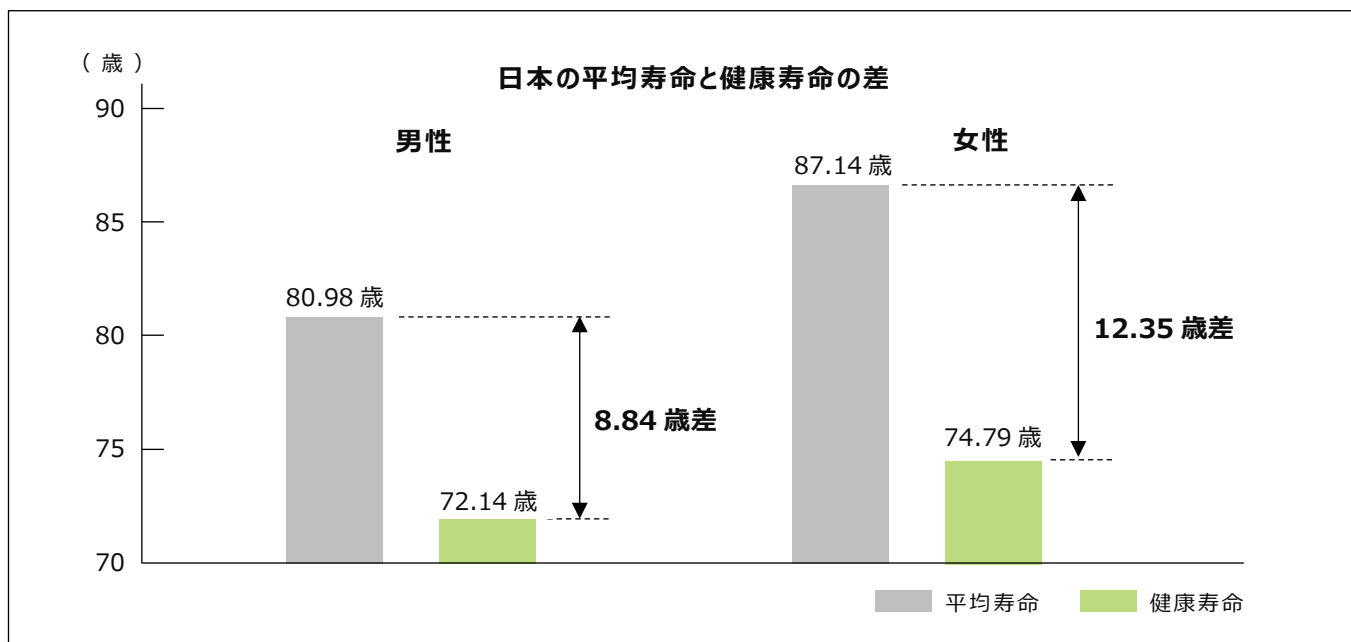
公園内に設置されたオリジナルコンテンツは、健康維持、ダイエットを目的としたトレーニング全6箇所、30種類。今後は、簡単なカラダほぐしから、筋力アップやアスリート向けの本格トレーニングまで、多様なトレーニングニーズにあわせて、コンテンツを充実させていく予定です。



■ 大阪の健康寿命延伸を目指して

内閣府が発表する平成 30 年版高齢社会白書*4 によると、平成 28 年度の日本の平均寿命は、男性が 80.98 歳、女性が 87.14 歳で、世界でもトップクラスです。一方で、健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）は、男性が 72.14 歳、女性が 74.79 歳であり、その差は男性で 8.84 歳、女性で 12.35 歳です。つまり、病気やケガなどで介護が必要な状態が約 10 年間あるということになり、健康で自律した生活を維持しつづけることが個人だけでなく社会全体の課題となっています。

*4 平成 30 年版高齢社会白書 https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2018/html/gaiyou/s1_2_2.html



出典：平成 30 年版高齢社会白書（平成 28 年の平均寿命／健康寿命）

その中でも、大阪府の健康寿命は、男性全国 39 位（71.50 歳）女性全国 35 位（74.46 歳）と、大都市の中でも全国下位になります。さらに、要介護者は約 51 万人に上り、第 1 号被保険者に占める認定者の割合は、全国平均 18.3%を上回る 21.4%と高くなっています。

セレッソ大阪のホームスタジアムを擁する総合公園である長居公園としても、リニューアル計画の一環としてスポーツを起点とした健康増進を目指しており、今回のコラボレーションが実現しました。

■ 公園を起点に、健康的な生活習慣を

健康増進のためには、日常的な健康習慣が必要です。都市のインフラである公園を活用することで、誰でも自分のペースで健康のための運動を日常に取り入れることを可能にします。

また、健康のための運動の定着化を図るため、オアシスのトレーニングアプリ「WEBGYM」を活用して、公園施設を利用して運動したユーザの行動データ（位置情報、利用時間、利用内容など）から、さらなるトレーニングコンテンツの充実や改善を図るとともに、公園施設、公園周辺施設の利用拡大をはじめ、公園を起点とした街の活性化も視野に入れた展開を検討。オアシスは、「ウェルビーイングな街と暮らしをつくる」を長期ビジョンのマテリアリティ（課題）として掲げる、東急不動産ホールディングスの一員として、ウェルビーイングを起点とした街の発展に寄与してまいります。

■ WEBGYM について

1,500 以上のトレーニングメニュー、レッスンの LIVE 配信など、“ジムを持ち歩く”をコンセプトとしたトレーニングアプリ。人生 100 年時代を見据え、お風呂で出来るエクササイズなど、高齢者でも負担が軽く生活に取り入れやすいトレーニングメニューを拡充。現在 66 万人にご利用いただいております。コロナ禍で 2020 年度のダウンロード数は前年対比の約 2 倍に。特に 50～70 代の利用者が 208%と顕著に増加しています。

名称： WEBGYM (ウェブジム)
利用料金： 無料 *一部アプリ内課金有り (別途パケット通信料がかかります)
プレミアム会員は 1 ヶ月契約 980 円、3 ヶ月契約 2,600 円、年間契約 8,900 円。
対応端末： Android(Android 要件 4.4 以上)
| Phone (対応 OS:iOS9.0 以上)、iPad、Apple watch、Apple TV
iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、
ライセンスに基づき使用されています。
ダウンロード： <https://webgym.onelink.me/0JLI/e9b827f7>

▶ 法人向けサービスのお問合せはこちら： <https://secure.sportsoasis.co.jp/hojin/request/index.html>

Well-being First!

私たちオアシスは、一人ひとりの生き方が異なる現代人に寄り添い、その人らしいウェルビーイング、すなわち「毎日も人生も、健やかかつごきげんに、動き、生きること」をサポートします。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、人々の行動が制限され、運動不足やそれに伴う健康二次被害*5が拡大しています。当社は、このような社会変化を踏まえ、人の健康に寄り添う企業として、運動習慣のない人も含めた、誰もが身体的にも精神的にも健やかな毎日を過ごせる社会を目指し、企業ミッションを「Well-being First!」としました。

既存のスポーツジム運営だけでなく、そのノウハウを活かして、新たな生活様式に沿ったオンラインフィットネス・ホームフィットネス事業の拡大や、BtoB/BtoG 事業の拡充を図り、「Well-being First!」な社会づくりに挑む、「ウェルビーイング総合カンパニー」に成長していきます。

*5 健康二次被害…外出を控え、運動不足になったり、人との関わりが減ったりすると、思わぬところで体や心の衰えが進んでしまうこと。

■ 会社概要

商号：株式会社東急スポーツオアシス
代表者：代表取締役社長 栗辻 稔泰
本社所在地：東京都渋谷区道玄坂 1-10-8 渋谷道玄坂東急ビル
<https://www.sportsoasis.co.jp/>

▶ 発表会オフィシャル素材はこちら：https://bit.ly/tokyu_oasis

【 本件に関するお問合せ先 】

株式会社東急スポーツオアシス ブランドデザイン部 広報 担当：小畑・片岡
TEL 050-3772-3818 E-mail press@sportsoasis.jp